

2022年度
聖句標語

Scripture
Word

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。

【ローマの信徒への手紙 12章15節】

今年度、金城学院大学に看護学部が新設されたことから、隣人に寄り添って生きることの大切さを学院全体で心に留めて歩みたいという願いから、ローマの信徒への手紙12章15節が、今年度の学院標語に選ばれています。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」ということは、人に寄り添うということです。「寄り添う」ということは、その相手の近くに行き、ぴったりとそばにいます。寄り添うことで、相手の気持ちを自分の気持ちとします。さらには自分の

気持ちよりも相手の気持ちを優先することになります。自分のことしか考えられない、自分さえ良ければよいと思うと、相手よりも自分を優先してしまいます。それでは、相手(隣人)の心に寄り添うことはできません。私たちはなかなか相手に寄り添うことができない者ですが、イエス様はそんな私たちにいつも寄り添い、共にいてくださいます。このことを忘れず、相手に寄り添い、共に生きる歩みをしたいと願います。 北川 美奈子 (中学校宗教主事)

みどり野会(同窓会)より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です。『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)、旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました。

主はわが牧者なり われ乏しきことあらじ

主は我をみどりの野にふさせ

いこいの水濱にともなひたまふ

神さまによってこの学院に集められた私たちが卒業後も母校に集まり、いこいの時を過ごす場という意味で「みどり野会」はいつも皆さんと共にあります。

お知らせ

召天者記念礼拝 および 恩師を偲ぶ会

● 日 時：2022年10月8日(土) 10:45~11:45

● 場 所：エラ・ヒューストン記念礼拝堂

● 礼 拝：金城学院宗教総主事 小室尚子先生

2019年6月~2022年6月までに亡くなられた恩師と卒業生のための追悼礼拝です。どなたでもご参加いただけます。

第5回 大学ホームカミングデー

2022年10月に予定しておりましたが、中止とさせていただきます。

クリスマス礼拝

● 日 時：2022年12月3日(土)

● 場 所：中学校白百合館1階 みどり野ホール

※お申し込みが必要となります。

※詳細は秋発行『みどり野』をご覧ください。

※イベント予定の変更がある際は、みどり野会HPIにてご連絡します。

お問合せ先

[みどり野会事務局]

電話：《本部》052-931-4480(中学校白百合館1階) / 《分室》052-798-0193(大学本部棟4階)

<https://www.kinjo-midorino.com> ※活動詳細は会報『みどり野』をご覧ください。

寄付金募集について

これまでの金城学院への様々なご支援に心より感謝申し上げます。今年度もご寄付をお受けしております。2口以上ご寄付賜りました方には本学院より心ばかりの品をお送りさせていただきます。

寄付金の使途

1. 修学奨学金 のため

2. 本学院発展 のため

2項目からお選びいただけます。

寄付に関する詳細は
寄付リーフレット
及びホームページを
ご覧ください。

<https://www.kinjo-gakuin.jp/donation/about/index.html>



金城学院

学校法人 金城学院
名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL.052-798-0180
発行者/金城学院報編集委員会
金城学院報通巻第109号
(With Dignity vol.39)
発行/2022年7月

W5棟のシンボル、「生命の木」

2022年3月に完成した新校舎「W5棟」のエントランスを入ると、美しいステインドグラスが迎えてくれます。ステインドグラス作家、立花江津子さんの作品で、金城学院みどり野会から寄贈されました。タイトルは「生命の木」。まさに看護学部の学び舎を象徴するような作品です。



with Dignity

金城女学校・第6代校長であるエラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として『You must have dignity』と話しかけたことに由来しています。「dignity」は、尊厳・品位の意。